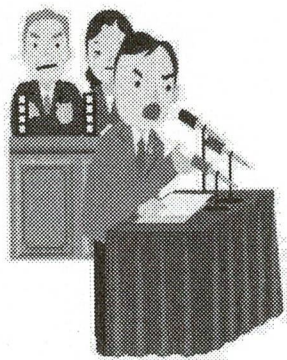


9月27日
国葬強行!

「国葬」強行は許さない!

～奥州市議会で意見書採択!!～

県内初



9月27日、岸田政権は安倍元首相の「国葬」を国民大多数の反対を押し切り、国会で議論することなく、強行しました。この動きに奥州市党として「国葬やめよ」の声をあげ、最後まで諦めることなく民意を示しました。

奥州市議会

9月22日、奥州市議会は9月定例会本会議で、発議案「安倍晋三元首相の『国葬』の中止を求める意見書」を賛成多数で可決しました。

同発議案は、今野裕文議員が提案者となり、他会派からも賛同者を得て、提案されたものです。

発議案では、政府が明確な法的根拠のない安倍元首相の「国葬」を国費で行うことは、政府による安倍元首相に対する評価を広く一般国民に対して同調を強いることになると、批判しました。さらに、各種世論調査で「国葬」反対の声が賛成を上回っている」と指摘し、中止を求めました。

自民党葬などの他の形で
行うべき

行おうべき

提案に対して、公明党議員が「国葬は来週(27日)に行われる。意見書提出が遅いのでは」と質問しました。今野議員は「今の段階であれば、国会を開いて(「国葬」を)議論することができる。葬儀することに反対しないので、自民党葬などの他の形で行うべきと考える」と述べました。

個人の葬儀を国が行う
根拠法が存在しない

根拠法が存在しない

公明党の2人の議員は、安倍氏の実績、諸外国の弔意の多さ、暴力に屈しないなどの理由で、発議案に反対の討論を行いました。

瀬川貞清議員は、60%以上の国民が「国葬」に反対している」と指摘し、①個人の葬儀を国が行う根拠法が存在しないこと、②特定の個人の葬儀に費用を税金で執行することは、法の下の平等、思想・良心・信教・表現の自由、財政民主主義を含む

各地で宣伝行動!
国葬反対
日本共産党

他団体と共同で ~前沢~



江刺



原中



水沢



姉体

時の内閣の一存で恣意的な扱いを認めるべきでない
菅原明議員は、「内閣設置法で定められた国の儀式は天皇の国事行為に限られ、首相経験者の葬儀はほとんど内閣・自民党合同葬として内閣の儀式として行われてきた。国会での審議なしで行うことは認められない。」

とが功績とは考えにくく、むしろ、安倍一強の中で、森友事件の公文書改ざんなど、政権の負の部分が出ている」と指摘される。政治的評価の分かれる元首相に対して、時の内閣の一存で「国葬」を決定する恣意的な扱いを認めるべきでない」と賛成討論しました。

9/23

大門みきし
前参議院議員大門さん直筆
似てます。

(9月23日)
久々に岩手会場で講義する大門みきし前参議院議員。3部構成の講義は、とても説得力と迫力のある講義でした。大門さん直筆による似顔絵はとても良く特徴をとらえており、改めて多彩な大門さんに脱帽。
また、コロナ対応の持続化給付金は、海外の調査を経て大門さんら我が党が提案した政策であったとの話など、その先駆性に勇気を与えられました。

岩手県議会議員
千田 美津子
Facebook より